

平成 24 年度（2012 年度）業績

1. 研究発表等の要旨

No.	発表者	発表課題名	掲載誌	年月
1	○石橋哲也 藤 伸一 久富倫子 大坪竜太 檜崎耕輔 富永 慧 浦田貴子	促成イチゴ‘さがほのか’における局所温度制御 循環用チューブの違いが生育に及ぼす影響	園芸学研究 第 11 卷 別冊 2:428	2012 年 9 月
2	○大坪竜太 富永 慧 石橋 哲也 檜崎耕輔 浦田 貴子	局所温度制御栽培における促成イチゴ‘さがほ のか’の定植時期の違いが収量・品質に及ぼす 影響	園芸学研究 第 11 卷 別冊 2:430	2012 年 9 月
3	○檜崎耕輔 石橋哲也 浦田貴子 中山敏文 富永 慧 大坪竜太	シンクロトン光を利用した元素分析による有機 栽培タマネギの特性解明（第 2 報）有機栽培 タマネギの球内元素組成および慣行栽培タマネ ギとの判別の可能性	園芸学研究 第 11 卷 別冊 2: 289	2012 年 9 月
4	○石橋哲也 正司和之 大坪竜太 檜崎耕輔 中山敏文 浦田貴子 富永 慧	畑作における有機タマネギ栽培技術の確立 （第 1 報）肥料の違いによる収量と所得	園芸学会九州支部 研究集録 第 20 号:35	2012 年 9 月
5	○大坪竜太 中山敏文 富永 慧 石橋哲也 浦田貴子 檜崎耕輔	畑作における有機タマネギ栽培技術の確立 （第 2 報）作型の異なる品種の収量	園芸学会九州支部 研究集録 第 20 号:36	2012 年 9 月
6	○正司和之 山口正洋 善 正二郎 中島貞彦 石橋哲也 富永 慧	畑作における有機タマネギ栽培技術の確立 （第 3 報）極早生および早生品種で無機銅剤 を用いた場合の病害虫発生状況	第 75 回(平成 24 年度) 九州農業研究発表会 専門部会発表要旨集: 147	2012 年 9 月
7	○山口正洋 中島貞彦	ハウスミカン園における 3 重被覆が収量および果 実品質等へ及ぼす影響と燃料削減効果	園芸学会九州支部 研究集録 第 20 号:19	2012 年 9 月

8	○田代暢哉	診断困難な病害に出会ったとき、その解決方法の事例 ジャガイモそうか病と関連病害 – <i>scabiei</i> ? <i>turgidi</i> ? <i>acidi</i> ? PCRに頼らない‘そうか病菌’ の判別法–	日本植物病理学会 第6回植物病害診断研 究会講演要旨集	2012年11月
9	○正司和之 山口正洋 田代暢哉	ICPによるマンガンを指標としたマンゼブの簡易 分析	日本農薬学会第38回 大会講演要旨集:82	2013年3月
10	○野口真弓 田代暢哉 井手洋一 口木文孝	カンキツ褐色腐敗病の感染成立前後における 保護殺菌剤および浸透移行性を有する殺菌剤 の散布による発病抑制効果の違い	日本植物病理学会報 第79巻:70	2013年2月
11	○田代暢哉 正司和之 山口正洋 石井香奈子 石井英夫	ベンゾイミダゾール系薬剤散布前のカンキツ 園から分離された青かび病菌 <i>Penicillium</i> <i>italicum</i> のベノミルに対する感受性	日本植物病理学会 講演要旨集 : 96	2013年3月

2. 刊行物

No.	刊行物名	年月
1	平成23年度業務年報 (ホームページで公開)	2012年5月

3. 学術誌掲載論文

No.	著者	題名	掲載誌	年月
1	Tashiro Nobuya Manabe Kayo Ide Youichi	Emergence and frequency of highly benzimidazole-resistant <i>Colletotrichum gloeo- sporioides</i> , pathogen of Japanese pear anthrac- nose, after discontinued use of benzimidazole.	Journal of General Plant Pathology 78: 221-226.	2012年 5月
2	Tashiro Nobuya Uematsu Seiji Ide Youichi Matsuzaki Masafumi	First report of <i>Phytophthora palmivora</i> as a causal pathogen of citrus brown rot in Japan	Journal of General Plant Pathology 78: 233-236.	2012年 5月
3	Tashiro Nobuya Manabe Kayo Ide Youichi	Identification of potato scab-causing <i>Streptomyces</i> sp. occurring in strongly acidic soils in Saga Prefecture in Japan.	Journal of General Plant Pathology 78: 353-359.	2012年 9月
4	Tashiro Nobuya Manabe Kayo Ide Youichi	Sooty spot caused by <i>Cladosporium clado- sporioides</i> in postharvest Satsuma mandarin grown in heated greenhouses.	Journal of General Plant Pathology 79:158-161.	2013年 3月

4. 著書・解説

No.	著者	題名	掲載誌	年月
1	田代暢哉	現場に役立つ農薬の基礎知識 第12回 夏のカンキツ類・カキの病害虫 防除	農業協同組合新聞 (http://www.jacom.or.jp/series/cat166/2012/cat166120803-17556.php)	2012年8月
2	田代暢哉	強酸性土壌での <i>Streptomyces acidiscabies</i> によるジャガイモそうか病の発生と病原菌 の諸性質	植物防疫 67:152-158	2013年3月

5. 公表した研究成果情報

1) 佐賀県試験研究成果情報

No.	情報名	担当
1	冬どりタマネギの育苗における省力的な短日処理を可能にする全自動開閉装置	畑作・経営
2	低コスト運転を実現する局所温度制御装置用のハイブリッドコントローラーの開発	畑作・経営
3	低コスト局所温度制御システムの必要能力と省力タイプの機器構成	畑作・経営
4	所得向上を目指したイチゴの低コスト局所温度制御システムの経営試算	畑作・経営
5	パッケージセンターを活用した1ha規模を目指す大規模イチゴ農家の経営モデル	畑作・経営
6	イチゴ'さがほのか'の先絞り果(仮称)の発生は初産1年目培地で多く、果実のホウ素含量が少ない	畑作・経営
7	微量要素資材の施用によるイチゴ'さがほのか'の先絞り果(仮称)発生軽減	畑作・経営
8	シンクロトン光を利用した蛍光X線分析によるタマネギ球および土壌の多元素同時分析	畑作・経営
9	シンクロトン光を利用した蛍光X線分析による有機栽培タマネギの判別	畑作・経営
10	ハウスミカンで問題になる'にせ黄斑病'の発病抑制には新梢伸長期の銅剤散布が有効である	畜産・果樹
11	'にせ黄斑病'で落葉したハウスミカンの早期生産再開技術	畜産・果樹
12	ハウスミカンの3重被覆園では2重被覆園に比べて約15%の省エネ効果が得られる	畜産・果樹
13	3重被覆ハウスミカン園の温度、光環境と果実の収量および品質は2重被覆園と同程度である	畜産・果樹